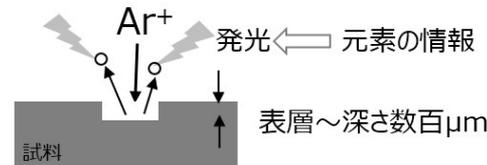


# 「グロー放電発光分光分析装置」の紹介

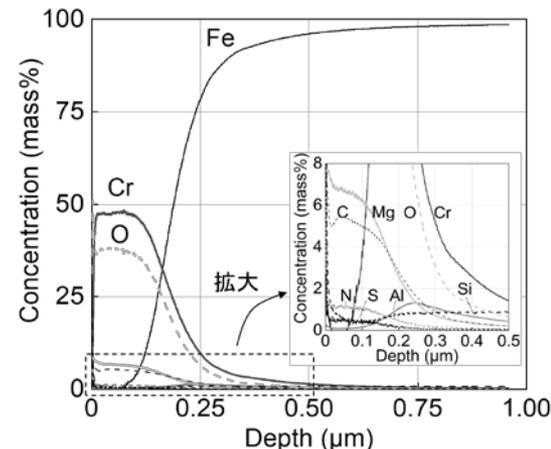
試料表面から深さ方向への元素の分布を分析する装置です。イオンで試料表面をスパッタリングし、発光波長から元素の種類を特定します。スパッタ時間(横軸)-発光強度(縦軸)のデータが得られ、検量線があれば、深さ(横軸)-濃度(縦軸)の表示に変換することも可能です。多層薄膜電極、めっき、アルマイト皮膜、金属上の塗膜等の層構造の分析に利用されます。



装置全体



分析原理模式図



ケイ素鋼板の深さ方向分析結果

## メーカー・型式

- メーカー  
株式会社堀場製作所
- 型式  
GD-Profilor2

## 主な仕様

- 分析径：4mmφ、2mmφ
- 測定元素範囲：H～U
- 測定チャンネル：45
- 深さ方向分析：  
検量線があれば濃度-深さ表示可能
- パルススパッタによる低ダメージ、  
高分解能測定

## 費用 (括弧内は県外申請者) R3年度現在

- 設備利用  
4,640円(6,960円)/1時間
- 依頼試験  
5,510円(8,260円)/1測定

試料取り付け部  
(試料はOリングに吸着)

測定後試料